

第22回千葉県カブラリー

3年に1回開催している千葉県カブラリーは、第20回が台風のため中止、第21回が新型コロナウイルス感染症対策で分散開催となり、千葉県全体では6年ぶりの開催となりました。

第22回は「足がら山物がたり！」～さぁー お祭りだ！～ をテーマに、令和6年3月17日 北総花の丘公園で開催されました。カブスカウト668人、指導者やプログラム運営スタッフ等685人、合計1,353人が集まり、楽しい1日となりました。



スカウトちば104号に向けて投稿して頂いたカブスカウトの皆さんの感想です。

【うみかぜ地区】

『はじめてのカブラリー』

袖ヶ浦第1団 星川 和輝

ぼくは、今回第22回の千葉県カブラリーに参加して、ビックリしたことがたくさんありました。

まずは、ぼくは隊長にカブラリーはすごいよ、すごいよ！楽しいよ!!と言われていましたが、ぼくは全く想像もつきませんでした。

台風やコロナなどもあり、6年ぶりに開さいされたカブラリー、参加して行ってみたら同じカブスカウトのせいふくを着ている人がいっぱいいてこんなに…とおどろきました。

そして、ラリーのミニゲームの多さにもビックリ!!各ブースは足がら山のぬすまれた金太ろうのマサカリを取り返すための呪文のワードを見つけるという内容でした。

どれもおもしろかったし、チームと他の団と協力してラリーに取り組むのが面白かった。なかなか、自分の団以外の人達と出会ったり交流したりすることがなかったので、今回とても大事なけいけんをしたと思うし、たくさん仲間がいることを理解して、活動を今後がんばりたいです。



【なぎさ地区】

<カブラリーの感想>

鎌ヶ谷第1団

- ・しか
仲間と協力してミッションをクリアしたこと
- ・しか
色々なブースを通して金太郎や金太郎に起こったことについてしれて面白かった。
ミニゲームも簡単だけど難しいようなゲームで楽しかった。
- ・しか
あの日はたくさん千葉にいるカブスカウトがいて、初めてのことで他の団と交流ができてとてもうれしかったです。
カブでやめてしまう人たちにとってはとても良い経験になったと思います。
- ・しか
私はカブラリーで一番「山つなみ」が楽しかったです。みんなで声をかけあいながら協力するのはすごく難しかったけど、やっている間にだんだんと慣れていきました。
さらに最後はペットボトルが横になってもあきらめないでやったら、ブースの人に「横でやったのは初めて見た」とも言われてみんなのおかげでできたと思いました。
これからも仲間と協力することを大切にしたいです。
- ・うさぎ
僕が一番楽しかったのは、くまさんを助けるゲームで初めてよこで助けられたことです。

「カブスカウトの輪」

浦安第2団 清宮 秀悟

最初に、バスに乗って現地に到着した時、「え～?!こんなに人がいるの～??」と思ってしまった。赤に黄色に緑!!まだまだたくさんの色や模様のチーフがあった。

みんな集まったらゲーム開始!!それぞれいっぱいゲームをやって楽しんでいた。

だが・・・ぼくたちはまだ、渚地区の「く・あ・そ」の秘密の呪文しかできていなかった。諦めそうになった時、そこで知り合った八千代第4団のかなた君が、なんと呪文全てを教えてくれたのだ!!

「えーっ?!」思わず声を出してしまった。そしてかなた君は、もう12人と『スカウトの輪』をやって、サインを集めていたのだ。

閉会セレモニーの時に休憩があり、その時に色々な人と『スカウトの輪』をやって、浦安第2団の中で、僕が一位の13人にサインをもらっていた。

ここで思ったが、かなた君がこのタイミングで『スカウトの輪』をやっていたら・・・どれだけの人数のサインが集まってたんだろう。



【おおとね地区】

第22回千葉県カブラリーに参加して

銚子第3団 カブスカウト隊

1組

「おいしかったカブラリー」

組長 永井 日菜(くま)

カブラリーで、一番思い出に残っていることは、きんたろう飴がおいしかったことです。もちろん、ゲームも楽しくて思い出に残っています!

「あしあとを消して」で、動物の足あとをたどっていたとき、なんの動物の足あとか分からなくなってしまったのですが、組の仲間と一緒に相談して、協力して、ついにゴールすることができました!また、「ひみつのじゅもん」も3つ集められたけれど、きんたろう祭りで「じゅもん」を言うときまで、残りの9文字に何が入るか、想像もつきませんでした!!たくさんのカブのみんなと交流できてとてもいい経験になり、ボーイ隊に上進する前にカブラリーに参



加できて良かったです。

会場の公園はとても広く、歩いても歩いても奥にたどり着けませんでした。参加賞でもらった金太郎飴や母と一緒に作ったスカウト弁当、そして隊長にもらったお菓子がおいしくて、疲れも忘れてたくさん足が動きました。ボーイ隊になったら、また、この公園に来て仲間と一緒に一周してみたいです。

「第22回千葉県カブラリーの感想」

次長 三浦 碧真（しか）

第22回千葉県カブラリーが印西市にある北総花の丘公園で開催された。銚子第3団カブ隊は集会の度に歌の練習をしてきたり、足がら山物がたりについて勉強もしたりしてきた。カブラリーは3年に1度しか開催されない。千葉県内のスカウト達が集まり、一体どのような事をするのか最初は不安だった。会場に着いて、思っていたよりも広い公園だなと思った。同じ制服を着ている他の団のスカウト達がたくさんいて驚いた。隊長が迷子にならないように目印に金太郎印の赤い布を帽子とハバザック用に手作りしてくれた。おかげで迷子にならずにすんだ。受付をして組ごとに朝礼をしてから、プログラムを回る事になった。6つのプログラムのうち、4つを回る事ができた。中でも印象に残っているのが、「山つなみ」だ。ツキノワ親子を僕たち金太郎がロープを使って救うゲームだ。結果は30秒だった。最初は結構早く救う事ができたのではないかと喜んだが、この時点ですでに他の団がたった15秒で助ける事ができたのを知り、すごいなと思ったし、悔しかった。ふだんから何度も練習を重ねているが、これからもていねいに声をかけあって練習しようと思った。また、「石のつぶて」では、「ぼくの名は金太郎」を元気よく歌った後に、大わしめがけて新聞紙の玉でできた石のつぶてを思い切り投げつけた。手前にいたヘビやキツネ、オオカミなどはすぐに倒す事ができたが、奥にいる大わしはなかなか当てる事ができなかった。木にロープをしぼって大わしが飛んでいるようにするのがすごいなと思った。最後に、今回のカブラリーに参加して感じた事は、どのプログラムも全て指導者たちの手で作られていて、たくさんの人たちの協力があって、行われていることを知った。また、他の団にも友達ができしたが、もっと勇気を出してたくさんの人に話しかければ良かった。

「たのしかったカブラリー」

石毛 双葉（うさぎ）

カブラリーに参加したのは初めてだったので、どんなことをするのかあまりわからなかったけれど、やってみると、カブでやったことをおさらいしながらの説明もあったので、わかりやすかったです。くまを助けるゲームで30秒台ととても早くできたのでうれしかったです。お昼のおにぎりも好きな具材が入っていておいしかったです。さい後の進化じゃんけんは、すこしかんたんでした。たくさんの人（あまりにも）がいたのでおどろきました。楽しかったです。

「嬉しかった～」

小野 陽南太（うさぎ）

3年に一度だけのカブラリーに、行けてよかったです。ちがう地区のカブのみんなと会えて、

嬉しかったです。

「弟とやってみたい石のつぶて」

中川原 誠太（うさぎ）

ぼくは、今回のカブラリーに参加してこんなにたくさんのカブ隊のひとたちがいるんだなあと思いました。そして、一番楽しかったブースは「山つなみ」です。理由はくまの親子をたすけられてうれしかったからです。次に楽しかったのは「石のつぶて」です。なぜかという、たくさんの動物をたおすのはむずかしかったけれど、さいごのワシに石をあてられた時が、気持ちよかったからです。こんど、弟とやってみないなあと思いました。

「たくさんのけいけんができたカブラリー」

宮内 絃（うさぎ）

北総花の丘公園で、ぼくはカブラリーにさんかしました。会場についてから人が沢山いてびっくりしました。ぼくは12月にカブスカウトに入ったばかりなので沢山のカブたいに会うのははじめてでできんちょうしました。

プログラムでは、金たろうのお話をモデルにしたゲームに組でちょうせんしました。いしのつぶてというゲームでは、手前にいる動物の絵をたおしてから、おくにいる鳥に何回石を当てられるかチャレンジしました。ぼくたちの組は7人で1分間、新聞紙を丸めた石を投げつけました。石が遠くにあったので走って何度も取りに行きました。ぼくは鳥には1回もあてられませんでした。ぼくの組では3回くらい当てることができました。ぼくも1回ぐらひは当てたかったけど、楽しかったです。

この日は、市川、浦安、匝瑳のカブたいと少し話げことができました。いろいろなけいけんがあつたので、これからもカブスカウトをつづけていきたいです。

2組

「たのしい、びっくりカブラリー」

組長 石毛 青空（くま）

いろいろなカブと交流して、スカウト活動のちがいをしれた。ゲームがいろいろあつてルールがちょっとむずかしいものもあつたけど、たのしくできた。カブの中、1回しか参加できないカブラリーを楽しくできた。いっぱい歩いたあとのご飯がおいしかった。くまを助けるゲームでくまを助けられなくて残念だった。予想の3倍以上の人がいておどろいた。



「思い出のカブラリー」

次長 伊藤 龍成（くま）

僕のカブ隊での、最後の行事だったので、とても思い出になりました。特に楽しかったことは、他の地域の団と交流したことです。理由は、他の隊だとチーフの色が違ったりして地域や町など、場所によって違うのだなと思い、おもしろいな～と思ったからです。四街道から来ていた団の方から手紙をもらいました。うれしかったです。

「第22回千葉県カブラリーに参加して」

地下 渡（くま）

令和6年3月17日、日曜日、印西市にある北総花の丘公園で第22回千葉県カブラリーがあり、団のみんなと参加しました。朝、銚子市役所へ集合し、観光バスに乗って印西市のカブラリー会場へ向かいました。ぼくは、ボーイスカウトに入団して初めてこの行事に参加しました。カブラリーというのは、活動するカブスカウトのみんなと仲良くなり、活動していく行事です。3年に1度、千葉県内では、4つの地区で活動していて、県内の各地区のカブ隊が集合する大きな大会で、今回は6年ぶりにカブラリーが開催されたそうです。

ぼくは、印西市へ、家族と買い物、北総線を最高速度160キロ、成田空港から都市へ約40分で走行する成田スカイアクセスを撮影に行ったことがありましたが、会場の公園は初めてで、大きさにおどろきました。カブラリーのテーマは足がら山物がたりで、7つのブースがあり、ミニゲームをしました。各ブースには盗まれた金太郎のマサカリを取り返すための呪文のワードを見つけるテーマでした。僕は、各ブースのミニゲームを団のみんなとプレイし、全部の呪文を手に入れることができました。

午後は、4つの地区の全員が広場に集合し、呪文をみんなで答え、マサカリを発見することができました。会場では、参加したみんなと歌を合唱しました。僕は3年生から団に入りました。会場では、県内のいろいろな地区から、ボーイスカウトの団員が参加しており、僕と同じくらいの子も話をする機会もあり、千葉県内は広く、同じくらいの子もがばっていると感じました。

「たのしかったゲームと仲間との出会い」

梅田 佳知（うさぎ）

ぼくは、3月17日にボーイスカウトでカブラリーに行きました。始めに、箱の中みを当てるゲームをしました。「中みはなんだろう？でこぼこしているな。次の箱はやわらかいな。さいごの箱はぎざぎざしているな。」と思って考えました。答えは、はじめは「マツボックリ」、次は「スポンジ」、さいごは「タワシ」でした。次に、子ぐまを助けるゲームをしました。もち



手はハの字むすび、わゴムをおさえるところはひきときむすび、とり方はわゴムをひっかけてとります。その次に、足あとのむきにそってゴールまで行くゲームをしました。終わったらお昼ご飯を食べました。おいしかったです。そのあと、あん記ゲームをしました。12こ中11こ、せいかいできたのでうれしかったです。さいごに、うたや写真さつえいをしました。と中でよつかいどうとやちよ市の人と友だちになれてうれしかったです。

「楽しかったカブラリーでの仲間との出会い」

苦谷 稜太（うさぎ）

3月17日に印西市で第22回千葉県カブラリーに参加しました。ぼくたちの組は6個中4個のブースを回ることができました。回ったブースの中で一番楽しかったのは「足あとを消しながら」です。動物の足あとの追跡サインをたどって、ジロップの所まで行くゲームで、サインを見てその方向に行くのが楽しかったです。追跡サインは、ツキノワは右、ジロップは前、ヤトは左、山犬は進入禁止でした。

最後のきんたろう祭りでは、進化じゃんけんをしてから、いろいろな団のカブスカウトに団名と名前を書いてもらいました。その中の3人と手紙のやりとりをしています。

「面白かったカブラリー」

深澤 隆博（うさぎ）

”あしあとをたどって”というゲームが楽しかったです。理由は、ぼうけんみたいだからです。あしあとによって方向が変わります。あしあとの形と方向をおぼえて、シカを助けに行くゲームです。とても面白かったです。

第22回千葉県カブラリーに参加して

成田第1団 カブスカウト隊

ロープ結びのゲームが最高に楽しかった

竹中 晴崇（くま）

ぼくが、カブラリーで一番楽しかったことは、ロープをつかったゲームです。なぜならロープ結びが大好きからです。大変だったことは、次にどこまでまわればいいのかわからなくなったときと、足あとを消しながらのゲームで苦労したことです。あと、二番目に楽しかったことは、ロープを体に巻き付けて、ペットボトルを火ばさみでつかんだ、なわを回してです。なぜかという、ロープを結んだり、ペットボトルをつかんで、おもしろかったです。こんかい、最後のカブラリーに参加して、苦労もしたけど、ぜんたいきてきに、とっても楽しかったです。

今後、カブラリーに参加できる機会があつて参加できそうだったら、ぜったいに参加したいです。

カブラリーに参加しておどろいたこと

門井 颯佑 (しか)

カブラリーに向けてたくさん練習しました。練習は一月の後半からやってロープ、歌、進化ジャンケンなどいろいろやりました。本番では、歌をたくさんやると思いましたが、なかなか歌わなかったのが、本気を出せませんでした。

練習していた、もやいむすび、ひとえつぎ、ほんむすび、ひきとけむすび、はちのじむすびができました。

本番のゲームでは、足あとをたどってはどちらが右かひだりかわからなくなることがあり、ふしぎな感じでした。なわを回してが1番楽しかったです。ゲームも楽しかったし、「川が汚いからゴーグルが必要」という説明が面白かったです。石のつぶてがまともに当たってもたおれなくて大変でした。赤い花の悪まは、話が覚えきられず1番むずしかったです。

ものすごくてたくさんの方がいておどろきました。成田の参加者は2人だったので他の隊は人がたくさんいるんだと思いました。最後に他の隊のカブスカウトからお手紙こうかんをさそわれておどろきました。好きなポケモンとかの話をしました。

第22回千葉県カブラリーに参加して

富里第1団 カブスカウト隊

「カブラリー」 戸田 為貴

ぼくは、カブラリーで楽しかったこと、苦労したこと、大変だったことは、2つあります。

一つ目は、オオカミに会ってはいけないゲームです。どうしてかというと、くまが左、しかが前、うさぎが右でごちゃごちゃしてて、オオカミに会ったらゲームオーバーで、オオカミに会わないようにしんちょうにいったらようやくいけたけれど、ものすごい苦労しました。

二つ目は、なわです。どうしてかかというと、花むすび、あやむすび、ほんむすび、ひきとけむすびで、ロープをつなげて人をわかにとうして、水中メガネをつけ3おくえんのトングをもってジロップを助けにいきました。

「カブラリー」 戸田 紘宇

ぼくは、カブラリーに、初めて行きました。初めは電車で行きました。かいそく成田スカイアクセスです。千葉中央についたら、カブ隊が3隊いました。

会場についたら、すごいカブスカウト。公園中カブ、すごい。

ゲームは、足あとを消しながらクイズが特におもしろかったです。

そしてお昼。といってもおにぎり。でもすごいおいしい。おにぎりはおいしいな。

一番はりきったのは、仲間作りです。13人作りました。その一人がスーパーカブ！3列ならんでいました。じぶんもがんばろ！



最後歌を歌いました。一番声をはりあげたと思う。

帰りはつかれました。でも、月がきれいにでていました。あさっては学校、宿題やらないと！

「カブラリーのためにじゅんびしたこと」 松本 琉熙

カブラリーのじゅんびは、カブスカウトの活動で、ロープの練習や、歌の練習、「あしがら山の物がたり」を見ました。また、カブスカウトのせ服に、参加章をぬいつけました。ろくにロープの練習は「八の字むすび」や「花むすび」「ひとえつぎ」のむすびを覚えました。二つのチームに分かれてロープをむすぶきょうそうをして、早くむすぶことができるようになって、うれしかったです。



カブラリー当日は、ロープを使ったゲームで「八の字むすび」が役に立って、ゲームをクリアすることができました。

前もって、じゅんびをしておくことが、大切だということがわかりました。だから、ぼくは、ふだんから、前もってじゅんびをしていきたいと思います。

「思い出の千葉県カブラリー」 和団 純佳

今回参加した、千葉県カブラリーには、三つの思い出があります。

まず一つ目は、参加するまでに、隊集会で準備したことです。隊集会では、毎週集まり、事前に練習して力を身に着けました。毎週行っているうちにだんだんとできることが多くなっていきました。

二つ目は、ゲームの楽しさです。ゲームをクリアしていくごとに“ひみつの呪文”がふえていったことです。ゲームをするだけでなく、暗合を解くおもしろさがあり、仲間と協力して楽しむことができたことです。

三つ目は、他のカブ隊との交流です。一緒にゲームをしたり、名前を教えあったりと、カブ隊の多さにとても驚きました。改めて多くの仲間に出会ったことが、何よりもうれしかったです。

このカブラリーで学んだことを日常生活に役立てたいと思います。

「いろんな発見！いろんな楽しさ」 宜野座 慧楽

私は、今回の第22回千葉県カブラリーで学んだこと、楽しかったことなどがあります。

一つ目は「なわを回して」などのことで学んだロープなどです。今回のカブラリーをきっかけに、ロープや歌などを覚えることができました。そしてロープを早く結ぶ練習もし、みんなで早く、正確にロープを結べるようになってよかったです。



二つ目は、ミッションから見つけた楽しさです。ミッションの一つには「他の団から、団名、名前を書いてもらおう」というのがありました。たくさんの団から聞くことができ、千葉県にはたくさんのカブの仲間いるのだなと思いました。他のミッションでも仲間と協力してクリアすることができ、とても楽しかったです。

今回の第22回千葉県カブラリーは、ロープなどを学んだり、他の団と交流することができ、楽しかったです。

他にも、電車（できたので）ルールを確認したり、マークの応募を行って楽しかったです。ありがとうございました。

「金太郎じゃんけんの思い出」 矢田 紗良

私がカブラリーで楽しかったゲームは、金太郎じゃんけんです。なぜなら、隊集会で練習したときにはあいこが続いたのでなかなか金太郎になれませんでした。そのとき私は、カブラリー一本番には金太郎になれるか不安な気持ちになりました。

それからカブラリー当日になりました。そのとき私にはまだ少し不安な気持ちがありました。そして、ゲームが終わり、金太郎じゃんけんの時間になりました。そしてみんなで金太郎とじゃんけんをしました。すると、練習の時とはちがってあいこが続くことがなく金太郎になれました。予想外のことに私はびっくりしてしまいました。とてもうれしかったです。

初めてのカブラリーでしたが、とても楽しかったです。

